


国語科 1年

単元名：すきなえほんのおきにいりしょうかい～にねんせいにおかえししよう～

本時のねらい	自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、登場人物の会話や行動などを手掛かりにしながら、お気に入りの理由をノートに書いて自分の考えを持ったり伝え合ったりすることを通して、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像することができるようにする。
評価規準	自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像することができる。
具体的な児童の姿	<p>物語のお気に入りの場面について、選んだ理由を書いて自分の考えを持ったり伝え合ったりして、場面の様子から登場人物の行動を具体的に想像している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇が●●するところがお気に入りだよ。わけは、◇◇な気持ちで◆◆していたから。 ・〇〇は●●のときに、◇◇だったと思う。だって、〇〇は●●のときに、◆◆と言っていたから。

時間	児童の活動	指導○及び留意点・ ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	<p>○掲示物を使って学習の目的や前時までの内容を想起するようにしてから、本時のめあてを位置付ける。</p> 	<p>単元の学習計画</p> <p>「おおきなかぶ」の「おきにいりカード」</p> <p>全文掲示 「おおきなかぶ」</p>
10分	2. お気に入りの場面の理由をノートに書いて、自分の考えを持つ。	<p>○お気に入りの場面の理由を書いて、自分の考えが持てるようにすることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの理由は登場人物の会話や行動などを手掛かりにすること（「〇〇が●●したところが▲▲だと思ったから」など）を確認し、活動の見通しがもてるようにする。 <p>※理由が思いつかない・考えられない児童がいる場合は、これまでの学習を振り返ったり、困りや悩みを出し合ったりして、解決に向かうような場の設定をする。</p>	<p>交流のポイント</p>
15分	3. お気に入りの場面の理由伝え合う。	<p>○お気に入りの理由を伝え合うことを提案し、交流の仕方や交流する時の態度などを確認してから活動に入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合った際に「もう少し詳しく聞きたい」「理由が 	

めあて おきにいりのばめんのりゆうをしょうかいしよう。



よく分からない」などの場合は、「相手に質問してみること、質問に答えることで自分の考えがしっかりすること」などを確認し、交流のポイントとしておさえる。



7分

4. ロイロノートに自分が選んだ好きな物語の「おきにいりカード」を作成する。

○ロイロノートで自分が選んだ好きな物語の「おきにいりカード」を作成することを伝える。
 ・操作等で困っている児童の支援を随時行う。



8分

5. 本時を振り返る。

○本時の振り返りをする。
 ・振り返りの視点として「お気に入りの場面を選んだ理由が詳しくなったか、お気に入りの理由が『いいなあ』と思った友だちについて」を伝える。その際、一人一人の理由が具体的になっていたことを見取った事実に基づいて伝え、身に付いた力が自覚できるように声かけする。
 ◎自分が選んだ好きな物語のお気に入りの場面について、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

〈発言分析・行動分析・記録分析〉

1人1台端末の使用は効果的であったか

- お気に入りの絵本をロイロノートに保存していることで、お気に入りの場面の理由を伝え合う時に、実際に絵本の場面を見せたり、登場人物の様子が分かる絵や叙述に印を付けながら話したりすることができた。また、お気に入りの場面のみならず、その場面までの過程や結末などのページを示し、叙述や場面の様子などと繋いで伝え合う姿も見られた。
- ロイロノートで「お気に入りカード」を作成したことで、絵を描くなどの作業の負担が減り、単元や本時のねらいへ焦点化して向かうことができた。
- ▲交流する際に、ロイロノートにある絵本ばかりを見て、交流相手に目を向けられない姿があった。